

INVITATION



Artill

報道関係者各位

2021年6月14日

奈良祐希が「佳水園」を舞台に細尾真孝/小原宏貴とコラボレーション 「Bone Flower」シリーズと新作「Lotus」シリーズを発表 個展「ENSEMBLE」 プレスプレビューのご案内 期間:7月16日(金) 10:00-15:00

この度Artill株式会社（アーティル株式会社）では、ウェスティン都ホテル京都と共催し、数寄屋風別館「佳水園」にて奈良祐希個展「ENSEMBLE」を開催します。

陶芸家・建築家という2つの顔を持つ奈良は1989年石川県金沢市生まれ。本展では、奈良の処女作であり高い評価を受けている「Bone Flower」シリーズに加えて、新作「Lotus」シリーズ等を展覧いたします。

奈良は、350余年の歴史を誇る大樋焼十一代大樋長左衛門氏を父に持ち、祖父である10代目（現・大樋陶冶斎）は文化勲章受章者でもあります。

1600年代半ば、加賀藩主が京より千家茶道を取り入れた際、樂焼唯一の脇窯として金沢の地に生まれたのが大樋焼であり、初代・大樋長左衛門から、本家は代々、その名前を受け継ぎます。伝統家系の長男として生まれた奈良は当初、陶芸から距離を置き、東京藝術大学で建築を学び、同大学大学院（美術研究科建築専攻）を首席で卒業しました。2021年には若手建築家の登竜門であるUnder 35 Architects exhibition 2021ファイナリストに選出されるなど、建築家としても将来を嘱望されています。

ウェスティン都ホテル京都は1890年の創業以来、京都の迎賓館、最高級ホテルとして君臨し続けています。1925年には日本近代庭園の先覚者として有名な7代目小川治兵衛の長男白楊により数寄屋風別館「佳水園」の敷地内に佳水園庭園が作庭されました。佳水園庭園は1994年に京都市文化財（名勝）に登録されています。数寄屋風別館「佳水園」は巨匠 村野藤吾の設計により1959年に完成し、戦後の現代数寄屋造り建築の傑作としても知られています。佳水園ではホテルにしながら伝統的な日本旅館のサービスを受けることができるのが特徴であり、2020年7月に建築家 中村拓志によりリニューアル工事が完成しました。

一般公開に先駆けてプレス関係の皆様にはプレスプレビューを開催いたします。何卒ご参加いただけますようご案内いたします。

奈良祐希×佳水園 個展「ENSEMBLE」プレスプレビュー

- 日時 : 2021年7月16日(金)
10:00-15:00
- 場所 : ウェスティン都ホテル京都 数寄屋風別館「佳水園」
京都府京都市東山区粟田口華頂町1番地
- アーティスト:
陶芸家・建築家 奈良祐希
「細尾」十二代目 細尾真孝
小原流五世家元 小原宏貴
- 公式サイト : <https://www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto/>



《本件及び当日の取材に関する報道関係者お問い合わせ先》

Artill株式会社 担当：坂本

TEL : 06-7639-1480 / FAX : 06-7639-1481 / E-mail : info@artill.jp

Mobile : 080-5200-0585

個展名称になっている“ENSEMBLE”は「調和・掛け合い」の意味を持ち、音楽においては二人以上の演奏すなわち重奏を示す言葉として使用されます。奈良が考えるENSEMBLEとは二つ以上のものが掛け合い、相乗効果やダイナミズムを起こすことです。建築と陶芸という二つの異なる視点から、新しいイメージを想起させてきたように、他者から影響を受け、他者に影響を与え、価値観が更新されることで世の中になかったものが生まれます。作品は突拍子もなく生まれるわけではありません。他者とのENSEMBLEは自身の作品をブレイクスルーさせる契機になると奈良は考えます。

まずは、佳水園とのENSEMBLEです。それは建築の空間性にとどまらず、村野藤吾が想いを込めた精神性との掛け合いでもあります。佳水園庭園のような日本庭園と奈良の作品の共通するところは、日本的な価値観や内と外の曖昧さです。それは外から部屋の中に差す光であり、内と外を曖昧につなぐ縁側のようなものです。また、奈良が手がけるシャープな作品は、「箕甲」と呼ばれる伝統的な納まりを用いて軒を薄く見せ、シャープで軽やかな切妻屋根が重なる佳水園との親和性があります。これは佳水園の設計者である村野藤吾、庭園を作庭した小川白楊、リニューアルを手がけた中村拓志とのENSEMBLEです。

また、1688年より続く西陣織の老舗「細尾」12代目の細尾真孝が手がける最先端の西陣織テキスタイルからインスピレーションを受けた新作「Lotus」シリーズを展示します。テキスタイルのフィロソフィーや構法を陶芸技法に落とし込むことで「織物」のような新たな陶芸の価値観を提示します。

細尾真孝は1978年、元禄元年創業西陣織老舗の細尾家に生まれました。西陣織の技術、素材をベースにしたテキスタイルを海外に向けて展開し、建築家 ピーター・マリノ氏の目に留まりクリスチャン・ディオールの旗艦店やシャネルの店舗に使用されるなど、世界のトップメゾンをクライアントに持ちます。2012年より京都の伝統工芸を担う同世代の若手後継者によるプロジェクト「GO ON」を結成し、国内外で伝統工芸を広める活動を行っています。2014年には日経ビジネス誌「日本の主役100人」に選出され、2016年よりマサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボ・ディレクターズフェローに就任しています。

最後に、いけばな三大流派の一つ、いけばな小原流五世家元・華道家である小原宏貴とのコラボレーション展示も執り行います。

小原宏貴は1988年神戸市生まれ。1995年、6歳にして五世家元を継承しました。我が国の伝統文化である「いけばな」の普及に力を注ぐとともに、芸術家としても、植物を通じた表現・創作活動を国内外に向け意欲的に展開しています。現在は、一般財団法人小原流研究院院長、公益財団法人日本いけばな芸術協会副理事長、兵庫県いけばな協会副会長、大正大学客員教授、小原流ビギナーズスクール校長を務めています。

小原流とは19世紀末、流祖小原雲心が「盛花（もりばな）」という新形式のいけばなを創始して、近代いけばなの道を開いたことに始まります。「盛花」は、口の広い器（水盤）に花材を盛るように展開させるもので、従来の線の動きを主にした構成に比べ、面的な広がりを強調したところに特徴があります。今ではおなじみの水盤と剣山を用いるいけばなは、小原流が始めたものです。創流からおおよそ130年、その時代の生活様式の変化に伴って盛花を基本に、現代空間にふさわしいいけばなを生み出し続けています。上記のような小原流独自の「水平性」からインスピレーションを受けた新作のBone Flowerを花器に見立て、小原が盛花を行うことで、両者の特性を引き立てあった新作が生まれます。

コロナ禍において、人や街、国の分断が進む世の中になったことで、調和の精神や助け合いの精神、共生の精神といったコミュニティの大切さを私たちは改めて感じるようになりました。上述の精神は全て、個ではなくチームとしての考え方です。奈良のルーツである伝統芸能という分野は往々にして作家個人によるものでありましたが、野球やサッカーといったスポーツがチームとして他者との関わり合いの中で行われるように、これからはENSEMBLEがもたらす相乗効果に伝統芸能の未来があると奈良は信じています。

本展はENSEMBLEの集合であり、オーケストラのように多彩な作品で創り出される世界観をご高覧ください。

《本件及び当日の取材に関する報道関係者お問い合わせ先》

Artill株式会社 担当：坂本

TEL：06-7639-1480 / FAX：06-7639-1481 / E-mail：info@artill.jp

Mobile：080-5200-0585

【イベント概要】

個展「ENSEMBLE」

期間：2021年7月17日（土）～7月25日（日）

時間：11:00-19:00

会場：ウェスティン都ホテル京都 数寄屋風別館「佳水園」
京都府京都市東山区粟田口華頂町1番地

内容：奈良祐希が「佳水園」を舞台に展覧会を開催
細尾真孝 / 小原宏貴とコラボレーション
「Bone Flower」シリーズと
新作「Lotus」シリーズのお披露目展示販売



Profile

Nara Yuki 奈良祐希

1989 十一代大樋長左衛門の長男として金沢市に生まれる

経歴

2013 東京藝術大学美術学部建築家 卒業
2016 多治見市陶磁器意匠研究所 卒業
2017 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 首席卒業

展示会

2016 菊池ピエンナーレ（菊池寛実記念智美術館 / 東京）
うつわ その先に 陶一魂のかたち（日本橋三越本店 / 東京）
SOFA CHICAGO（アメリカ）
2017 Collect（イギリス）
TEFAF Maastricht（オランダ）
アートフェア東京（東京国際フォーラム / 東京）
Design Miami / Art Basel（スイス）
ASIA NOW（フランス）
KOGEI Art Fair Kanazawa（KUMU / 金沢市）
2018 Les Promesses du Feu / 炎の同心（Pierre-Yves Caser Gallery / フランス）
アートフェア東京（東京国際フォーラム / 東京）
Asia Contemporary Art Show（香港）
アート台北（台湾）
Art Expo New York（Pier94 / アメリカ）
2019 Art Central（Central Harborfront / 香港）
第21回岡田茂吉賞展（MOA美術館 / 熱海）
Art KYOTO（二条城 / 京都）
2020 Hybridizing（Akio Nagasawa Gallery / 東京）
Synergism（ROLF BENZ / 東京）
2021 Ceramic Expressions（Mullan Gallery / シンガポール）
Fractal Synergy（YOD / 大阪）

建築

2018 五行茶室（金沢21世紀美術館, 台南市美術館 / 金沢, 台湾）
2021 Node（企業新社屋 / 金沢）
2021 Under 35 Architects exhibition 2021（うめきたショッピングホール / 大阪）

プロダクト

2013 六角堂プリン（デザイン / 浅田屋）
2015 Kizuna（ピアタンブラー / ニッコー）

作品収蔵

根津美術館（東京都）
Victoria and Albert Museum（イギリス、ロンドン）



《本件及び当日の取材に関する報道関係者お問い合わせ先》

Artill株式会社 担当：坂本

TEL：06-7639-1480 / FAX：06-7639-1481 / E-mail：info@artill.jp

Mobile：080-5200-0585

Profile

Hosoo Masataka 細尾真孝

1978年、元禄元年創業西陣織老舗の細尾家に生まれました。

西陣織の技術、素材をベースにしたテキスタイルを海外に向けて展開し、建築家 ピーター・マリノ氏の目に留まりクリスチャン・ディオールの旗艦店やシャネルの店舗に使用されるなど、世界のトップメゾンクライアントに持ちます。

2012年より京都の伝統工芸を担う同世代の若手後継者によるプロジェクト「GO ON」を結成し、国内外で伝統工芸を広める活動を行っています。

2014年には日経ビジネス誌「日本の主役100人」に選出され、2016年よりマサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボ・ディレクターズフェローに就任しています。

西陣織の老舗「細尾」は元禄元年（1688年）に京都西陣にて創業。以来、きもの文化の継承に取り組んでいます。伝統的なきものと革新的なテキスタイルを通じ、日本の優れた物づくりの価値を提供しています。



Profile

Ohara Hiroki 小原宏貴

1988年神戸市生まれ。

1995年、6歳にして五世家家を継承しました。

我が国の伝統文化である「いけばな」の普及に力を注ぐとともに、芸術家としても、植物を通じた表現・創作活動を国内外に向け意欲的に展開しています。

現在は、一般財団法人小原流研究院院長、公益財団法人日本いけばな芸術協会副理事長、兵庫県いけばな協会副会長、大正大学客員教授、小原流ビギナーズスクール校長を務めています。

小原流とは19世紀末、流祖小原雲心が「盛花（もりばな）」という新形式のいけばなを創始して、近代いけばなの道を開いたことに始まります。「盛花」は、口の広い器（水盤）に花材を盛るように展開させるもので、従来の線の動きを主にした構成に比べ、面的な広がりを強調したところに特徴があります。今ではおなじみの水盤と剣山を用いるいけばなは、小原流が始めたものです。

創流からおよそ130年、その時代の生活様式の変化に伴って盛花を基本に、現代空間にふさわしいいけばなを生み出し続けています。



《本件及び当日の取材に関する報道関係者お問い合わせ先》

Artill株式会社 担当：坂本

TEL：06-7639-1480 / FAX：06-7639-1481 / E-mail：info@artill.jp

Mobile：080-5200-0585

奈良祐希が「佳水園」を舞台に細尾真孝、小原宏貴とタイアップ
「Bone Flower」シリーズに加えて、新作「Lotus」シリーズを発表
個展「ENSEMBLE」

プレスレビューのご案内

期間:7月16日(金) 10:00-15:00

【7月15日(木) 17:00】までにメール/FAXにてご返信ください。

Artill株式会社 PR事務局

E-mail : info@artill.jp FAX : 06-7639-1481

参加希望

貴社名 :

貴媒体名 :

所属 :

お名前 :

撮影 : ムービ スチール

人数 :

当日連絡可能な携帯番号 :

TEL :

FAX :

メールアドレス :

個別取材希望 : 有 ・ 無 (取材対象者)

個人情報のご記入にあたって

ご記入いただきました個人情報は、今回のイベント関連の出席者管理・ご連絡のみに利用させていただき、その利用目的に必要な範囲を超えて第三者への提供・預託は行いません。本返信状に個人情報をご記入いただく場合は、以上についてあらかじめご了承のうえ、ご記入、ご返信をお願いいたします。

当社の個人情報保護方針、並びに個人情報の取り扱いに関するお問い合わせはinfo@artill.jp までお願いいたします。

新型コロナウイルスへの対応につきまして

1)当日、発熱または呼吸器症状がある方、新型コロナウイルス患者と濃厚接触した可能性がある方、本人または家族が14日以内に感染症危険情報の出ている地域への渡航歴がある方は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。

2)当日受付にて検温計と手の消毒液にご協力をお願いいたします。**37.5度以上**の発熱が確認できた場合、会場への入場をご遠慮いただきます。ご了承ください。

《本件及び当日の取材に関する報道関係者お問い合わせ先》

【出欠の返信に関するお問い合わせ先】

Artill株式会社 PR事務局 担当:坂本

TEL : 06-7639-1480 / FAX : 06-7639-1481 / E-mail : info@artill.jp

Mobile : 080-5200-0585